

国 労 水 戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 大和田亨
編集責任者 坂本公則



2012

開春

大洗港からの日の出

謹賀新年

2012年団結旗開き
1月7日(土)12時から
水戸京成ホテル11階

2012年が明けました。年頭に当たりまして、水戸地方本部を代表し、ごあいさつ申し上げます。昨年は、私ども国労水戸地方本部にとりまして激動の一年でした。

第一に、3月11日に発生した、東日本大震災です。2011年12月22日現在で、死者1万5、843人、行方不明3、469人という未曾有の大震災でした。震災によって発生した津波によつて、大変残念ながら、組合員の阿部さんと組合員の御家族4人の尊い生命が奪われました。改めましてお悔やみとお見舞い申し上げます。この、大震災によつて、福島第一原発で、メルトリルと水素爆発が起こり膨大な放射能が放出され、東北、関東の広大な地域

で放射能汚染の実態が明らかになっていきます。2011年12月に政府は、福島第一原発の廃炉行程表を公開しましたが、最速でも30年〜40年という膨大な工程に不安は拡大するばかりです。改めて、反原発・脱原発運動の強化が求められています。

第二に、1、047名JR不採用問題の終結です。2011年6月に三党(民主党、社民党、国民新党)による政府要請を受け、国土交通省が改めてJR各社に雇用の確保を求めましたが、JR各社の頑なな姿勢と一部官僚の抵抗に「雇用の確保」は実現できませんでした。しかし、闘争団の平均年齢が58歳となり、これ以上の長期闘争を考慮し当事者としてこの闘争の終結を確認し、国労



2012年1月元旦
国労水戸地方本部執行委員長 大和田 亨

東日本本部とJR東日本との一括和解以降、国労は90名を超える組織拡大を成し遂げています。この流れを国労多数派形成の流れに変えなければなりません。

第五に、「2012年3月ダイヤ改正」をはじめ、「グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進」、「新人事賃金制度」など交渉が山場を迎えています。労働条件改善にも全力を挙げなければなりません。2012年が、国労組織の発展を展望出来る年に成ること、そして組合員の皆様のご多幸を祈念し、地方本部を代表して今年も宜しく申し上げます。

新たな闘いに全力を

2012年の年頭あいさつ

電気協議会議長 高木 道治

2011年は、「東日本大震災」の発生により大変な年でした。地震、津波、原発事故による各個人の生活をはじめとしたあらゆるものの復旧は、まだ終わっていません。特に、原発事故による影響は、何十年という規模で続くこととなります。

「1047名不採用事件」は、「東日本大震災」の影響もあり政府との対応が困難な中、「雇用」を確保できずに終結されました。残念でなりません。「設備メンテナンス体制の見直し」が、2010年12月1日に実施されました。その内容は、「技術力維持継承」「輸送障害」に対する会社としての対応策となっております。「設備メンテナンス体制の見直し」の実施は、水戸支社では、2011年4月1日から行われてきましたが、「東日本大震災」の復旧作業により、実質的には6月1日からの実施になりました。実施されてからそれほど経過はしていませんが、さまざまな問題が出ています。今後、「設備メンテナンス体制の見直し」を検証して、会社に対して問題点の解決を求めていきます。さらに、「点検・摘発活動」を通して「安心して安全に働ける職場にする」ために、電気協議会は団結して頑張っていくという決意を述べて年頭の挨拶とします。

謹賀新年

昨年は、水戸運輸協議会としてJR不採用問題の解決に向け全力を挙げて取り組んできました。3月11日東日本大震災で、職協の仲間が津波による家屋の倒壊や福島第一原発の放射能で避難を余儀されるなど激動の一年間でした。本年は、ダイヤ改正の諸要求の集約と要求実現に向け引き続き取り組んでいくことはもちろんのこと、放射能問題も解決されるまで見据えて行かなければならない課題です。

運輸分科は、「食う・寝る・トイレ」を基本に安全・安定輸送を確保するために労働条件改善の取り組みを引き続き強化していきます。検修分科は、二年間動向がなかった検修外注化問題が再び動き始めました。基本的には、反対の立場をとりつつ改善の取り組みの強化を図っていきます。2012年は、多くの課題が山積しています。運輸協協が一丸となり問題解決に向け奮闘してまいりますので今年一年よろしくお祈いします。

運輸協議会議長 菊池 輝雄

闘春

昨年は3・11に発生した東日本大震災による地震・津波、そして福島第一原発の放射能漏れ事故は私たち工務で働く者にとって大変な年でした。「設備メンテの改善」効率化も一年が経過し、安心して働き続ける条件が益々切り下げられてきています。さらに、機械設備職場における効率化合理化の4月1日実施提案など、矢継ぎ早の攻撃は止まることを知りません。

私たちは、これらの攻撃に職場の実態を検証し反撃の条件を作り上げなければならぬと考えます。私たちを取り巻く情勢は大変厳しいですが、工務協一丸となって奮闘できるよう頑張りたいと考えます。今年もよろしくお祈い申し上げます。

工務協議会議長 渡辺 隆義

謹賀新年

昨年は東日本大震災により予想だにしない現状のなか、鉄道の早期運転再開に向け労使一体となり復旧に努力を重ねてきました。

「地域住民の足を守る」使命のもと取り組む反面、運転再開となった地域で働く仲間達の不安・不満の声があるのも現実とします。運輸協議会では、これらの仲間の声を総括し丁寧な運動を続けるなかで、班・分会との連携を強化しながら取り組んでいきたいと考えています。

さらに、「安全・安定輸送」「働きやすい労働条件」の確保に向けて取り組むためには、各職場からの問題を集約出来る体制が必要であり、「集まる場」の大切さを提起し精一杯取り組むことを申し上げて新年のあいさつに致します。

運輸協議会議長 菊池 悟

国労水戸地方本部闘争委員会は本年も職場組合員の声を反映出来るよう奮闘してまいります。よろしくお祈い申しあげます。

2011年1月元旦